SONY

3-867-516-**02** (1)

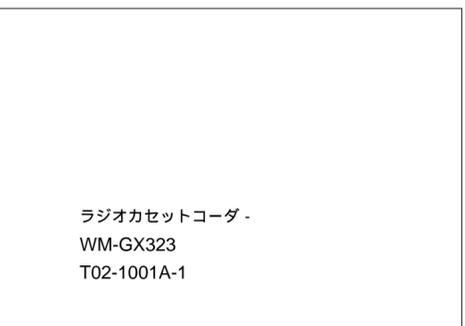
ラジオカセットコーダー

取扱説明書•保証書
Operating Instructions / XXXXXX

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WM-GX323 WALKMAN

ラジオカセットコーダー
WM-GX323
T02-1001A-1

主な特長

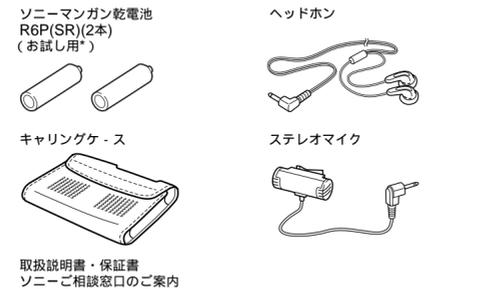
- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える、**録音時間2倍モード*搭載。**
- ヘッドホンなしでも聞ける、**前面高出力ステレオスピーカー**。
- テープを連続再生する、**オートリバース**。
- テレビ（1〜3ch）の音が聞ける、FM**チューナー**。
- 再生スピードが調節できる、**スピードコントロール機能。**
- 耳にやさしい音量にする、**音量リミットスイッチ。**

* **本機の2倍モード**（2.4cm/s）**で録音したテープは、2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。**

付属品を確かめる

- **ソニーマンガン乾電池** R6P(SR)(2本) **（お試し用*）**
- **ヘッドホン**

- **キャリングケース**

- **ステレオマイク**

- **取扱説明書・保証書**
- **ソニーご相談窓口のご案内**

* 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

安全のために

⚠警告

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の＋と−が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

•所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
•保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

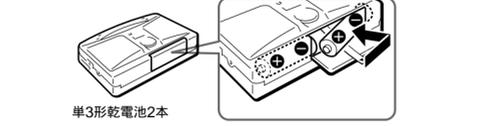
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

準備する

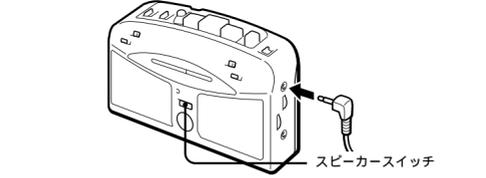
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、裏面の「電源」をご覧ください。

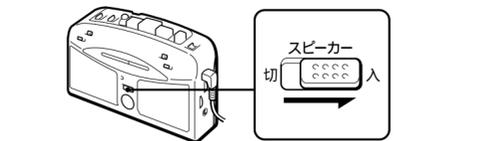
1 乾電池を入れる

単3形乾電池（2本）を、図のように⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

ご注意
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池ぶたがはずれたときは
図のように取り付けます。

2 ヘッドホンをつなぐ

スピーカースイッチを「切」に合わせます。

スピーカーで使うには

スピーカースイッチを「入」に合わせます。
スピーカーから音が聞こえ、ヘッドホンからは音が聞こえなくなります。
また、音量リミットスイッチは働きません。

- FM、**テレビ放送を聞くときは、ヘッドホンのコードがアンテナとして働くので、スピーカーで聞く場合もヘッドホンはつないだままにします。**

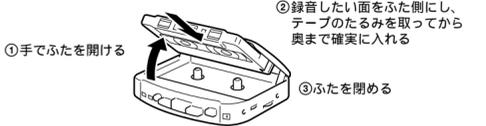
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595
受付時間：
月〜金 9:00〜20:00
土・日・祝日 9:00〜17:00

録音する

片面録音ができます。
ツメが折れている面には録音できません（「録音するときのご注意」参照）。

[!] 録音するときは、なるべく新しい乾電池をお使いください。

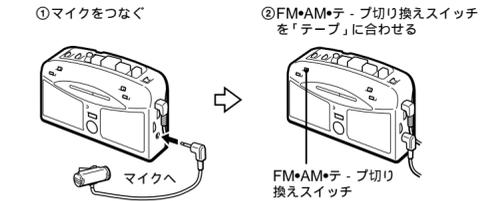
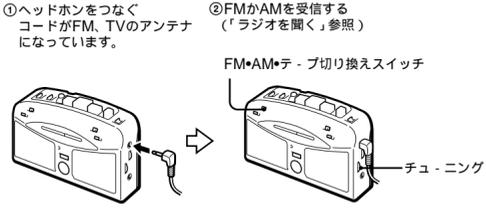
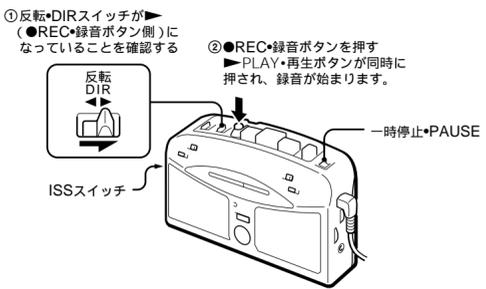
ご注意
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

1 カセットを入れる

録音には、TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2 録音時間を選ぶ

標準(4.8cm/s)：通常の録音をするとき。
「2倍」のときより良い音で録音できます。
2倍(2.4cm/s)：テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。
（60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます。）

3 音源を選ぶ

マイク録音の場合

ラジオ録音の場合

4 録音を始める

[!] **反転•DIRスイッチが◄側になっていると、●REC•録音ボタンは押せません。►側に切り換えてください。**

テープが終わりまでくると

録音を始めた面の終わりで自動的に録音が止まります。録音を続けるときはテープ面を入れ替えて録音操作をしてください。

録音を一時停止するには

録音中に一時停止•PAUSEスイッチを矢印の方向にすると、録音は一時停止します。録音を再開するときは、一時停止•PAUSEスイッチを矢印と反対の方向にします。

録音を止めるには

■停止•STOPボタンを押します。

AMを録音中にピーという雑音が聞こえたら

本体側面のISSスイッチを雑音が消える位置（1、2または3）に切り換えます。

録音レベルについて

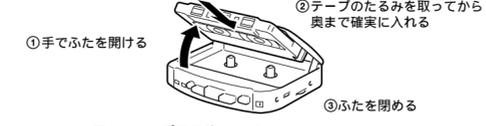
録音レベルは一定です。録音される音は音量◣つまみや音量リミットスイッチの設定に影響されません。

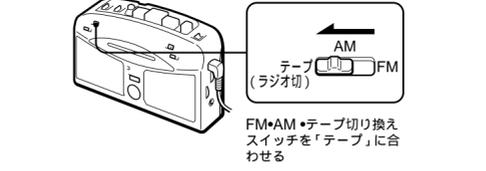
付属のマイクの使いかた

クリップはマイクを付ける場所に合わせて方向が変えられます。

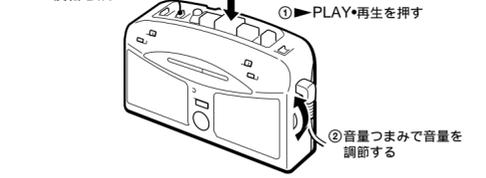
テープを聞く

テープ片面の再生が終わると、自動的に反対面の再生に変わり、両面を再生します。(オートリバース機能)

1 カセットを入れる

TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2 「テープ」にする

3 「標準」または「2倍」を選ぶ

録音時間切り換えスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。

4 再生する

テープ速度がおかしいときは、録音時間切り換えスイッチを確認してください。

その他のテープ操作

操作	操作するボタンまたはスイッチ
再生面の切り換え	反転•DIR (►：ふた側、◄：本体側の面)
停止	■停止•STOP
早送り／巻き戻し	停止中に◄◄または►►*

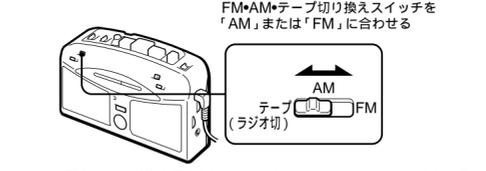
*テープの再生方向を確認してから◄◄または►►を選んでください。
また、早送り／巻き戻しをしてテープが巻き取られたあとそのままにしておくと、電池が急激に消耗するので、必ず■停止•STOPボタンを押してください。

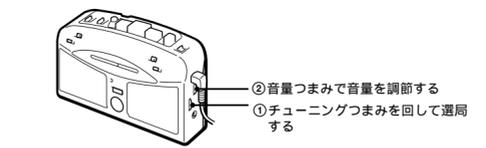
[!] **テープ走行中はカセットぶたを開けないでください。**

ラジオを聞く

1 「AM」または「FM」を選ぶ

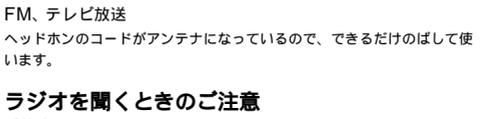
FM•AM•**テープ切り換えスイッチを「AM」または「FM」に合わせる**

AM
テープ（ラジオ切）
FM

- FM、**テレビ放送を聞くときは、ヘッドホンのコードがアンテナとして働くので、スピーカーで聞く場合もヘッドホンはつないだままにします。**
- テレビ（1chから3ch）の音を聞くときは、「FM」にします。

2 放送局を選ぶ

ラジオを消すには

FM•AM•テープ(ラジオ切)切り換えスイッチを「テープ(ラジオ切)」に合わせます。

受信状態をよくするには

AM放送
アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、最もよく受信できる向きにしてお聞きください。

FM、テレビ放送
ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合はお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 本体を他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、ラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部の金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなるときがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき
ステレオ放送を聞くときはFMステレオ•モノ(モノラル)切り換えスイッチを「ステレオ」に合わせます。雑音が多いときは「モノ」にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。また、AM、テレビはステレオにはなりません。

►録音する－応用

録音するときのご注意

録音について

•REC•録音ボタンは録音開始の2秒くらい前に押してください。直前に押すと最初の部分が録音されません。
•録音するテープにはTYPE I（ノーマル）テープをお使いください。
ハイポジションテープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。
•録音中は反転•DIRスイッチは動きません。無理に動かすと故障することがありますのでご注意ください。
•電池が消耗して電池ランプが消えると、録音に雑音が入ったり、性能を充分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池を新しいものと交換してください。

マイク録音について

•録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、雑音が録音されることがあります。
•ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
•付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
•マイク録音中はスピーカーから音は聞こえません。

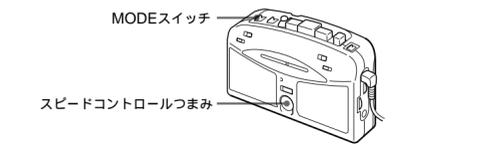
大切な録音を守るには

ツメを折って取り除きます。
再び録音するには、穴をふさぎます。

ツメを折った面には、録音することができません。

►テープを聞く－応用

いろいろな聞きかたをする

MODEスイッチ
スピードコントロールつまみ

❐ テープの再生速度を調節する

約＋15%から約–15%まで再生速度を変えることができます。
本体のスピードコントロールつまみを次のように調節してください。

再生速度	つまみの操作
ゆっくり再生する	−側に回す
速く再生する	＋側に回す
通常の速度で再生する	中心に戻す

ご注意
録音中はスピードコントロール機能は使えません。

❐ テープ走行のしかたを選ぶ

本体上面のMODEスイッチを切り換えて、テープ走行のしかたを選びます。

操作	MODEスイッチの位置
両面を繰り返し再生	⥀
両面を1回再生*	⮐

*反転•DIRスイッチが►側になっているときは、ふた側の面の再生の後本体側の面を再生し、テープの終わりで止まります。
◄側のときは、本体側の面だけを１回再生し、テープの終わりで止まります。

▶その他の機能を使う

音もれを抑え耳にやさしい音にする
（快適音量）（ヘッドホン使用時のみ）

音量リミットスイッチを「入」にします。
音量リミットスイッチ使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。

音量リミットスイッチは録音される音には影響しません。

キャリングケースを使う

付属のキャリングケースを使うと、ベルトにつけて聞くことができます。

▶電源

乾電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、本体前面の電池ランプが暗くなります。
テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換してください。
乾電池は、別売りのアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の持続時間について (EIAJ*)

測定条件 ＼ 使用電池	ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	ソニーマンガン乾電池R6P(SR)
（ヘッドホン使用）		
テープ再生時	約22時間	約7時間
ラジオ受信時	約48時間	約16時間
マイク録音時	約11時間	約3.5時間
ラジオ録音時	約10時間	約3時間
（スピーカー使用）		
テープ再生時	約13時間	約4時間
ラジオ受信時	約24時間	約8時間
ラジオ録音時	約8.5時間	約2.5時間

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用)

ご注意
電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

1　別売りのACパワーアダプターAC-E30L（日本国内用）またはAC-E30HG（海外用）を本体側面のDC IN 3Vジャックにつなぐ
電源は、自動的に内蔵の乾電池からACパワーアダプターに切り換わります。

2　ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ

コンセントにつないで使うときはご注意ください。

極性統一形プラグ

- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30LまたはAC-E30HG（極性統一形プラグ：EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC-E30HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーを、ときどきお手入れしてください。
別売りのクリーニングカセットCHK-1WやクリーニングキットKK-WM1をご利用いただくと便利です。

►PLAY•再生ボタンを押し込む

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。また、薄いテープで録音すると、高音ののびが悪くなることがありますので、なるべくお使いにならないでください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
スピーカーから音が出ない	スピーカースイッチが「切」になっている。	「入」に合わせる。
再生ができない	FM•AM•テープ切り換えスイッチの位置が違っている。	「テープ」に合わせる。
テープが回っていても音が聞こえない	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする	録音時間切り換えスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。	反対側に切り換える。
再生音がおかしい	スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。	中央の位置に合わせる。
	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
ラジオが聞こえない	FM•AM•テープ切り換えスイッチの位置が違っている。	「AM」または「FM」に合わせる。
REC/録音ボタンが押せない	誤消去防止用のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふさぐ。(「録音するときのご注意」参照)
	テープの走行方向が間違っている。	反転•DIRスイッチを切り換えて走行方向を変える。(「録音する」参照)
音量が大きくならない	音量リミットスイッチが働いている。	音量リミットスイッチを「切」にする。
雑音が入ることがある	本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
雑音が多く、音質がよくない	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
	ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。	別売りのクリーニングカセットCHK-1W、クリーニングキットKK-WM1できれいにする。
音が途切れる雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	プラグをきれいにクリーニングする。
	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
FM の受信状態が悪い	ヘッドホンが抜けている。	ヘッドホンをつなぐ。
AMの受信状態が悪い	本体の向きが悪い。	本体を回して受信状態のよいほうに向ける。(「ラジオを聞く」参照)
前の録音が完全には消えない	ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングする。
	ハイポジション、メタルのテープを使っている。	TYPE I(ノーマル)テープを使う。

主な仕様

●テープレコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
スピーカー	直径3.6cm　2個
テープ速度	4.8cm/s、2.4cm/sのスピード切り換え（標準–2倍モード切り換え）
周波数範囲 (EIAJ*)	再生時：40〜15,000Hz 録音・再生時：100〜8,000Hz （録音時間切り換えスイッチ「標準」時）
入力端子	マイク（ステレオミニ）ジャック1個 最小入力レベル　0.2mV
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニ）ジャック1個 負荷インピーダンス　8〜300Ω
実用最大出力(DC時)	スピーカー：110mW + 110mW (EIAJ) ヘッドホン：5mW + 5mW (EIAJ)
電源	DC 3 V 単3形乾電池2個
電池持続時間	乾電池の持続時間については「電源」をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
最大外形寸法	約116 × 89 × 39mm (幅/高さ/奥行き)
質量	本体　約190g ご使用時　約265g (乾電池 2本、テープ C-60HF含む)

●ラジオ部

受信周波数	FM（ステレオ）：76.0〜90.0MHz AM（モノラル）：531〜1,710kHz T V（モノラル）：1〜3ch

●別売りアクセサリー
ACパワーアダプター AC-E30L（日本国内用）、ACパワーアダプター AC-E30HG（海外用）、クリーニングカセット CHK-1W、クリーニングキット KK-WM1、ステレオイヤーレシーバー（ヘッドホン）MDR-E848V、MDR-E837V、カーバッテリーコード DCC-E230

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

各部のなまえ

●本体

1. テープ操作ボタン
2. ●REC•録音ボタン
3. 反転•DIRスイッチ
4. MODEスイッチ
5. FM•AM•テープ切り換えスイッチ
6. FMステレオ•モノ（ステレオ、モノラル切り換え）スイッチ
7. 電池ランプ
8. ISS（AM放送録音妨害除去）スイッチ
9. DC IN 3Vジャック
10. スピーカースイッチ
11. カセットぶた
12. 一時停止•PAUSEスイッチ
13. 録音時間切り換えスイッチ
14. ☊（ヘッドホン）ジャック
15. 音量つまみ
16. 音量リミットスイッチ
17. チューニングつまみ
18. マイク(プラグインパワー)ジャック
19. 電池ぶた
20. スピードコントロールつまみ

Preparations

To Insert batteries

Open the battery compartment lid at the bottom of the Walkman and insert two R6 (size AA) batteries by matching the + and – on the battery to the diagram inside the battery compartment.

Battery life (approximate hours) (EIAJ*)

	Sony alkaline LR6 (WM)	Sony R6P (SR)
(using headphones)		
playback	22	7
radio	48	16
mic recording	11	3.5
radio recording	10	3
(using the speakers)		
playback	13	4
radio	24	8
radio recording	8.5	2.5

* Measured value by the standard of EIAJ (Electronic Industries Association of Japan). (Using a Sony HF series cassette tape)

Notes

- The 電池 (battery) indicator dims when the batteries become weak or exhausted. Replace them with new ones.
- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.
- If the battery compartment lid comes off, attach it.

For maximum performance we recommend that you use alkaline batteries.

To use external power

- For house current: Connect the AC power adaptor AC-E30L for Japan (not supplied) or AC-E30HG for overseas (not supplied) to the DC IN 3V jack.
- Specifications for AC-E30HG varies for each area. Check your local voltage and the shape of plug before purchasing.

Recording

Note

Tapes recorded with the 録音時間 (recording time) switch in the 2倍 (double) position cannot be played properly by a tape recorder without the 録音時間 (recording time) switch function.

1 Insert a TYPE I (normal) tape with the side you want to record on facing forward.

2 Set 録音時間(recording time) to the desired mode.
標準 (normal) (4.8 cm / s): for optimum sound. Recommended for normal recordings.
2倍 (double) (2.4 cm / s): for double recording time (for example, 120 minutes using both sides of a 60-minute cassette). Suitable for recording conferences, dictations, etc. Not recommended to record music.

3 **To record from the radio**
① Set FM•AM•テープ (tape) to AM or FM.
② Tune to the station you want.

To record from the microphone
① Connect the supplied microphone to マイク (プラグインパワー) (MIC) jack.
② Set FM•AM•テープ (tape) to テープ(tape).

4 Set 反転•DIR to ►. When 反転•DIR is set to ◄, you cannot press ●REC 録音.

5 Press ●REC 録音. ►PLAY•再生 is pressed simultaneously and recoding starts. The recording level is automatically adjusted.

To pause a recording

Set 一時停止 PAUSE to the direction of the arrow during recording. The recording will pause. To record, set 一時停止 PAUSE to the opposite direction of the arrow.

To stop recording

Press ■停止 STOP.

To record on the reverse side

Turn over the tape after recording stops on the forward side. The recording function works only on the forward side.

Tips

- To reduce noise while recording AM programs, set ISS to the position that most decreases the noise.
- Adjusting the volume or setting 音量リミット(AVLS) will not affect the recording level. These controls will change the sound level you hear.

Notes

- Do not use a Hi-position (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape. If you do, the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- When recording with the microphone, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp as this may cause interference noise.
- If a howling occurs, turn down the volume.
- When recording with the microphone, the sound to be recorded cannot be heard through the speakers.

Playing a tape

1 Insert a cassette.

2 Set the FM•AM•テープ (tape) to テープ(tape).

3 Set 録音時間 (recording time) to the same position as that used for recording. To playback commercially sold tapes, select 標準 (normal).

4 Press ►PLAY•再生 (playback).

To	Press or switch
Stop playback*	■停止•STOP
Fast-forward or rewind the tape**	◄◄ / ►►
Change sides	Set the 反転•DIR
Play both sides once	Set MODE to ⊂—
Play both sides repeatedly	Set MODE to ⊂⊃

* When the tape ends, the depressed button ►PLAY•再生 is released automatically (Auto shut-off function).
**If you leave the unit after the tape has been wound or rewound, the batteries will be consumed rapidly. Be sure to depress ■停止•STOP.

To use the speakers

Set スピーカー(speaker) to 入(on). The sound will play from the speakers and no sound from the headphones.

To limit the maximum volume automatically—AVLS (Automatic Volume Limiter System (Only when using headphones)

Set 音量リミット(AVLS) to 入(on). The maximum volume is kept down to protect your ears even if you turn the volume up. To cancel the 音量リミット(AVLS) function, set 音量リミット(AVLS) to 切(off).

Tips

- To switch the playback side, set 反転•DIR to ◄ or ►.
- To select the direction of the tape, set MODE to ⊂— to play both sides of the tape once, or ⊂⊃ to play both sides repeatedly.

Notes

- When you set 音量リミット(AVLS) to 入(on), turn down the volume, if the bass-boosted sound becomes distorted or unstable.
- Do not open the cassette holder while the tape is running.

Adjusting the Playback speed

You can choose from approximately +15% to –15% playback speed.

Turn スピードコントロール(speed control) to the left (slows down) or to the right (speeds up). To put back to the normal speed turn スピードコントロール(speed control) to the middle.

Playback Speed	Turn the knob
Slow speed	to the – direction
Fast speed	to the + direction
Normal speed	to the middle

Note

You cannot change the recording speed by the スピードコントロール (speed control).

Listening to the radio

Since the headphone cord serves as an FM antenna, connect the headphones even when using the speakers.

1 Set FM•AM•テープ(tape) to AM or FM.

2 Tune to the station you want.

To turn off the radio

Set FM•AM•テープ(tape) to テープ(tape).

To improve broadcast reception

For FM, extend the headphones cord or adjust FMステレオ•モノ (stereo•monaural) switch to モノ (monaural).
For AM, reorient the unit itself.

Note

If the broadcast becomes noisy when a cassette with a metallic shell or label is inserted, remove the cassette.